

2013年 2月9日(日)実施

2013年度 立命館大学大学院 先端総合学術研究科 2月一般入学試験

(公共領域)

問題：以下に抜粋した文章を読み、下記のそれぞれの問いに答えよ。なお、解答用紙は自由に使うことができるが、裏面も含めて1枚の用紙におさまるように記述すること。

許諾がないためWEBでは公開していません。窓口閲覧のみです。

(出典：片山杜秀、『未完のファシズム——「持たざる国」日本の運命』新潮社、328-333頁、2012年、ただし、一部省略したり、一部括弧内で補足説明する等、部分的に表現については修正を施した。)

設問1：日本が総力戦としての第二次世界大戦に関わっていくことになった理由をどのように筆者は考えているか。著者の独自の知見を踏まえ、その考えを600～800字程度でまとめよ。

設問2：上記の文章で提示されている論点に対して、あなた自身の考えを述べよ。その際、提示された論点に対してできるだけ「批判的な立場」から考察を行うこと。なお、その際、字数は自由でよいが、記述にあたっては論点が明確になるよう十分留意して記述せよ。